



期待できる効果



▼ 含有成分量

カルシウム (Ca) 20%

特長

- ・他の成分と結合しやすいカルシウムを特許技術のマイクロカプセル化によって保護。圧倒的な吸収率で、効率的な施用が可能。
- ・カルシウムは細胞壁を強くし、日持ち向上に貢献。また、根の成長を促進。
- ・カルシウムイオンが十分にあるとストレスへの応答が速くなり、ストレス対策に貢献。

ポイント解説

一般的なカルシウム資材は、土壌内で、他の物質と結合して難溶性となり、吸収されずに長期に渡り残留してしまいます。植物のカルシウムイオン (Ca^{2+}) のほとんどは細胞壁にあります。カルシウムが十分にあると、細胞分裂後の細胞の伸長を促進する植物ホルモンの働きを促進します。

施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

日持ち向上	500～2000 mL/10アール	1～2週間間隔
細胞壁強化	500～2000 mL/10アール	2～4週間間隔
ストレス対策	500～2000 mL/10アール	2～4週間間隔

液体資材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500 L、本製品500mLでご使用の場合、希釈倍率は1,000倍となります。

荷姿： □9.5L □1L

GROWING
BEYOND

Ca

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
—	—	—	20

関連用語

マイクロカプセル化

サーファクタント技術を用いて栄養素を囲い込み、土壌での不都合な結合を回避して、栄養素をそのまま植物に高吸収率で吸収させる。

カルシウム (Ca)

カルシウム (Ca) 強靱な細胞壁を構築するための必須栄養素。ストレス耐性の強化、根や葉の生長促進、土壌の団粒化等を促進します。

リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壌内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されております。マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壌中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステイナブル資材”として期待されています。



Redox技術による
成分保護のイラスト

